

2010年 11月号  
通巻 106号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16

電話019-651-0810

FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

# 하나



東北学校創立45周年式典(10/10)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ korea-iwate@ictnet.ne.jp

## 東北朝鮮学校創立45周年記念式典・大同窓会

10月10日、東北朝鮮初中級学校創立45周年の記念式典とOB会総会、大同窓会が行なわれた。校長の挨拶、OB会の活動報告と役員改選、創立45周年記念事業として卒業生・同胞からの寄金で通学バス1台と液晶テレビ10台が学校に寄贈された。学生・卒業生・同胞らによる祝賀公演の後、祝賀宴が催され、全国から駆けつけた卒業生やベガルタ仙台の梁勇基選手も紹介された。参加者は学生時代の思い出を語りながら懐抱をかわし45周年を祝った。



### 『還暦を迎えた同胞を祝う会』

10月6日、車鴻氏の『還暦を祝う会』がつなぎ温泉<愛真館>にておこなわれた。

会では発起人代表の朴相浩さんの祝辞、有志からの記念品が嚴彬容さんから贈呈され主役の車鴻さんがスピーチした。

車さんは「たくさんの方々に祝ってもらい本当にありがたい。これからも同胞の役に立てるように生きていきたい。」と語った。発起人の嚴彬容さんが車氏の健康と益々の活躍を祈念し乾杯の音頭をとった。またこの日は「還暦祝いコンペ」を八幡平CCで行なった。

車さん！これからも元気で！ますますご活躍ください！



### 時事コラム『澄んだ目』

「日本の教育が朝鮮植民地支配や強制連行、差別の歴史をきちんと教えているとは思えない。私たちは民族教育のおかげで自分のルーツを知ることができる。よく知りもしないで反日教育だとか言わないで」—インタビューに応じたチマ・チョゴリ姿の朝高生はうっすら涙を浮かべた ▼同時刻、永田町では民主党拡大政調役員会が開かれた。朝鮮学校への「高校無償化」適用に関し、文部科学省設置の「検討会議」が示した「適用基準」を了承した。事前の3回の部門会議では、「外交問題とは切り離して差別なく適用すべき」との見解が大勢を占めていた ▼これをおもしろく思わない一部国会議員とメディアが再び横槍を入れている。「教育内容を問わない」としたことが気に食わないのだ。無関係の拉致問題担当相を担ぎ出し、文科省に圧力をかけている。ある全国紙には、国立大学の教育者が書いたとは思えないような稚拙な内容のコラムが掲載された。彼によると、朝鮮学校への「無償化」適用を支持することは「人さらいテロ国家の側につくことになる」という▼議論は十分すぎるほど時間をかけて行われた。「具体的教育内容は問わず外形的要素で判断する」と確認された。前例も法的根拠も必要性もないからだ。反対派の悪あがきは、もはや保守層の支持をつなぎとめておくためのアリバイ作りでしかない。

[朝鮮新報 2010.10.25] より転載

## 11月～2011年1月の予定

### △永友会ゴルフコンペ・忘年会

#### —忘年会

日時：11月9日（火）午後6時

会場：『明月館』 TEL019-624-1601

会費：5,000円

#### —ゴルフコンペ

日時：11月9日（火）9：30 集合/10：00 スタート

場所：盛岡ハイランドCC TEL019-659-1234

参加費：3,000円

締切：11月2日（火）

連絡先：金明成 (090-3120-2039)

韓龍淑 (090-8927-6101)

会員以外の方の参加も大歓迎です。県南、東部のかたも気軽にご参加下さい。

### △県南会

日時：11月24日（水）午後 2：30～

会場：やまなか家北上店

### △盛岡支部 時局講演会・送年会

日時：11月24日（水）午後 3：30～

会場：①時局講演会 15：30～ 本部会館 3F

②送年会 17：30「明月館」（624-1601）

参加費：3,000円

連絡先：同胞センター（姜）TEL019-651-0810

締切：11月19日（金）

### △県南会 送年会

日時：12月8日（水）午後6：00～

会場：「韓厨房」（北上）TEL0197-65-5100

※詳しい連絡は追って幹事より。

### △2011年成人祝賀会・盛岡支部新年会

日時：2011年1月6日（木）12：30～

会場：①新春講演会 12：30～ 本部会館 3F

②成人式・新年会 14：00～ 「明月館」

会費：5,000円（新成人・学生・子供は無料）

## ウリ信岩手支店宮古旅行

10月20日（水）にウリ信用組合岩手支店主催の「日帰り旅行」がありました。主に盛岡市内のトンボ達が参加した今回の旅行では、宮古の景勝地「浄土ヶ浜」をモーターボートで遊覧。

昼食は「豪華海鮮丼」に舌つづみ。天候にも恵まれ皆さん楽しいひとときを過ごしました。岩手支店では、今後もいろんな企画を行ってまいります。ご協力宜しくお願い致します。



## ドクター カンの健康講座

### 第96回 インフルエンザ最新情報

昨年インフルエンザにかかった人は2000万人を超えたと推計されました。そのほとんどはなんと新型インフルエンザでしたが日本では重症化や亡くなった人も世界では最低でした。

患者の役6割は14歳までの子供で、1番多かったのが5～9歳でした。

しかし入院した割合は高齢者に比べて低く又、重症化も少なかったようです。

大人では発病した人は少なかったものの入院した割合は60歳以降では多く、亡くなった人の半分以上は40歳以降の人でした。

そしてその多くはぜんそくや糖尿病や心臓病などの基礎疾患を持っている人たちでした。

感染を防ぐには咳やくしゃみが出たらマスクを着用して拡散を防ぐ「咳エチケット」は大事です。又外出をひかえることです。

ただ健康な人がマスクをしていれば外からのインフルエンザの感染を防ぐことができると過大評価するのは禁物です。効果がほとんどないと指摘する人もいます。

今年のワクチンは前回は説明しましたが新型インフルエンザA(H1N1)、季節性のA香港型、B型の3種混合ワクチンです。

昨年のように優先順位はありません。高齢者の基礎疾患のある方は特にすすめます。妊娠中の女性も可能です。

抗インフルエンザウイルス薬は充実してきました。今までのタミフル、リレンザの他に注射や1回の吸入で済む薬も承認されました。

毎回いいように高齢者は「肺炎球菌ワクチン」も是非接種してください。少し高い金額ですが5年間は効果があります。

皆さんかぜをひかないように。

（協力：幸クリニック院長 姜幸一先生）